

# インキャパシタンステスト装置- Static Weight Bearing テスト



後肢に炎症または神経損傷を持つ  
実験動物モデルの自発痛評価に

適用研究分野：疼痛

両足圧力差痛覚測定試験は、後肢に炎症または神経損傷（神経障害や切開など）を持つ実験動物モデルの自発痛評価に適しています。従来の侵害性閾値測定の場合、痛覚感受性レベルの測定は可能ですが、侵害刺激を与えない限り自発痛レベルを評価できません。

この試験では、ホルダーに被験動物を入れ、2枚のセンサープレートの上に置きます。動物は自発痛のある肢に体重がかからないような体勢をとります。動物が左右の後肢にかけている体重を2枚のセンサーで別々に測定することで、自発痛のある肢をかばっている状態を数値化できます。

各センサーにかかっている現在の重量値がコントロールユニットのLCDディスプレイに表示されます。表示値の単位（グラム、ニュートン、オンス、ポンド）はユーザが選択できます。試験の開始と停止をリモートフットスイッチで制御できるので、両手を使って実験を行えます。

タッチスクリーン式のコントロールユニットには、測定中、試験対象となる動物グループの統計データ（平均値とSD値）も表示できます。



**オプションのソフトウェア**（BIO-CISソフトウェア）で下記にも対応いたします：

- ・実験内容の設定
- ・両足重量のリアルタイムモニタリング
- ・実験結果のグラフ化
- ・実験結果のエクスポート（CSV形式）

必要環境：Windows 7 32 bitもしくはWindows 7~11 64 bit、CPU Intel Core i3 8<sup>th</sup> gen以降、メモリ4 GB RAM以上

## 標準構成

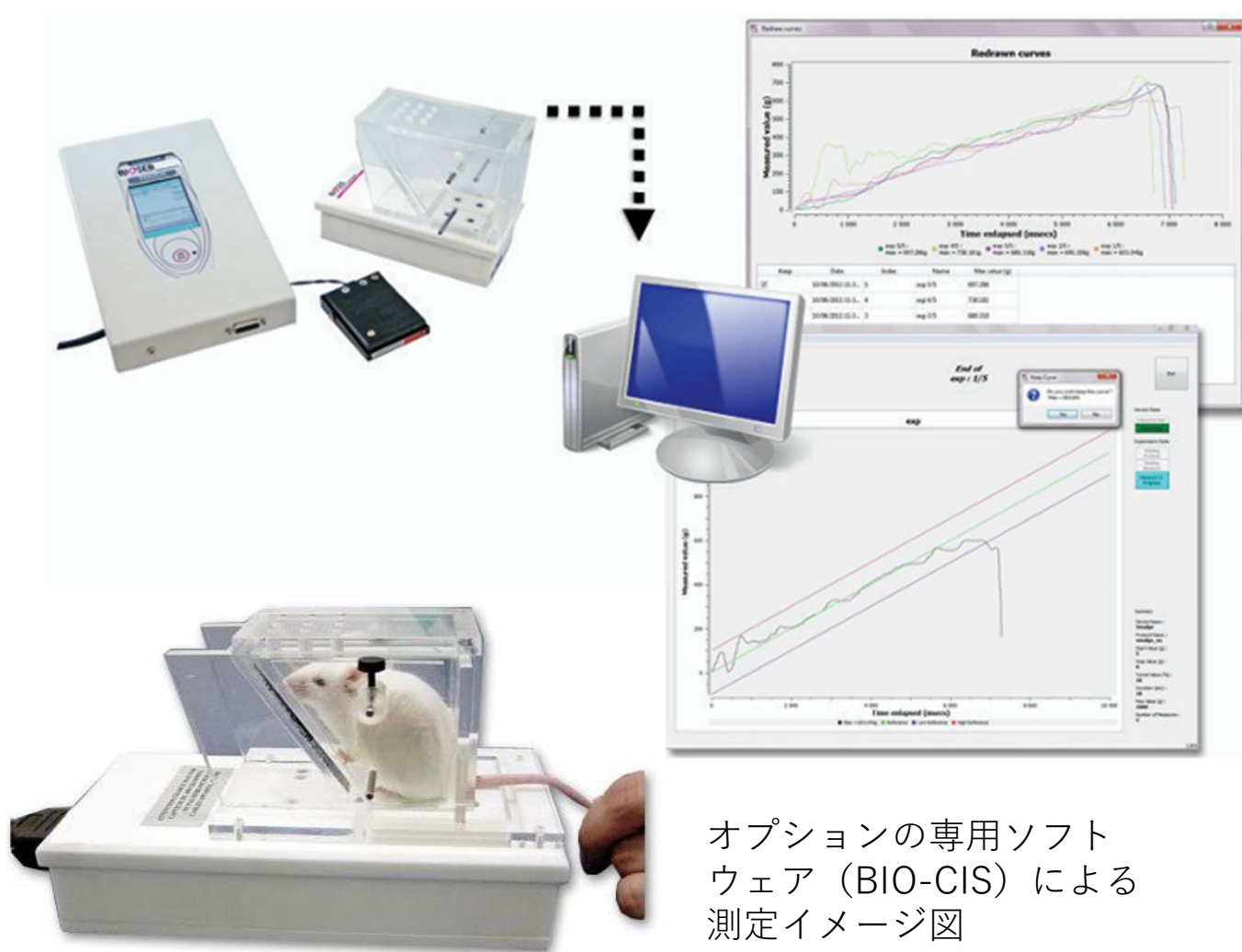
- ・コントロールユニット
- ・センサー
- ・マウス/ラット用ホルダー
- ・フットスイッチ
- ・ケーブルとコネクタ

（左）測定時画面

## 仕様

分解能	0.2 g
測定時間	1～99秒
加重範囲	2000 g
寸法（センサー、ホルダー除く）	W 200 × D 100 × H 40 mm

型式	品名
BIO-SWB-TOUCH-M	マウス用インキャパシタンステスト (SWB) 装置
BIO-SWB-TOUCH-R	ラット用インキャパシタンステスト (SWB) 装置
<b>オプション</b>	
BIO-SWB-MR	マウス用SWBホルダー (スペア)
BIO-SWB-RR	ラット用SWBホルダー (スペア)
BIO-SWB-RR-XL	ラット350-550g用SWBホルダー (スペア)
BIO-CIS-SWB	SWB用BIO-CISソフトウェア
ELE-SWB-CABLE	SWB用USB接続ケーブル



オプションの専用ソフトウェア (BIO-CIS) による測定イメージ図